

PRESS RELEASE 2023.6.15

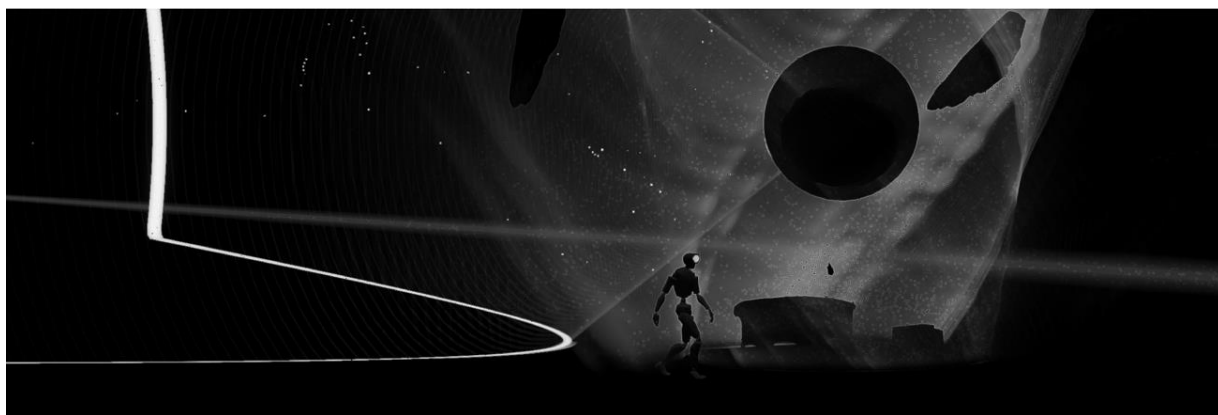
第Ⅱ期みんなのアートプロジェクト成果展

配置訓練 細井美裕 + 比嘉了

Constellation Manual Miyu Hosoi + Satoru Higa

2023年7月15日(土)～9月10日(日)

長野県立美術館 1F 交流スペース



細井美裕・比嘉了《配置訓練 細井美裕+比嘉了》(2023年) キーヴィジュアル

長野県立美術館では、無料ゾーンの「交流スペース」に展示する作品を新たに制作委託するプロジェクト「新美術館みんなのアートプロジェクト※」に取り組んできました。このたび「第Ⅱ期みんなのアートプロジェクト」の成果展として、気鋭の作家・細井美裕と比嘉了による新作《配置訓練 細井美裕+比嘉了》(英題: Constellation Manual Miyu Hosoi + Satoru Higa) と関連資料を展示します。

※新美術館みんなのアートプロジェクト

触れることのできる美術作品や本館無料ゾーンの大型壁面に投影する映像作品の委託制作プロジェクト。観るだけでなく、触れたり、音を聞いたり、身体のあるゆるる感覚を使って作品を感じていただくことで、子どもや障がいのある方も含め誰もがアートを身近に感じていただける美術館を目指します。

展覧会概要

『第Ⅱ期みんなのアートプロジェクト成果展 配置訓練 細井美裕＋比嘉了』

会 期 | 2023年7月15日(土)～9月10日(日) *休館日 | 水曜日

会 場 | 長野県立美術館 1F 交流スペース

開館時間 | 9:00～17:00

観 覧 料 | 無料

主 催 | 長野県、長野県立美術館

協 賛 | 株式会社ジェネレックジャパン、株式会社静科

キュレトリアル・アドバイザー | 阿部一直

サウンド・エンジニア | 奥田泰次 (studio MSR)

担当学芸員 | 松井正

みどころ

1 リニューアルオープンから3年目となる長野県立美術館での新たなコミッションワークプロジェクトの成果展

2021年春にリニューアルオープンした長野県立美術館では、館内に新設された「交流スペース」のための作品委託制作プロジェクトに取り組んできました。第Ⅰ期の成果展「Something there is that doesn't love a wall—榎原澄人×ユーフラテス」では、榎原澄人《飯縄縁日》(2021) *とユーフラテス《1本の線》(2021)を上映展示しました。このたび後継プロジェクト「第Ⅱ期みんなのアートプロジェクト」の成果展として、気鋭の作家・細井美裕と比嘉了による新作を公開します。

*2022年 オタワ国際アニメーション映画祭 最優秀ノンナラティブ賞

2 キュレトリアル・アドバイザーとして阿部一直氏を迎え、「ランドスケープ・ミュージアム」を再解釈

第Ⅱ期となる今回の「みんなのアートプロジェクト」では、長野県出身で、山口情報芸術センター(YCAM)のキュレーター／アーティストティック・ディレクターや文化庁メディア芸術祭審査員などを務め、メディアアート分野におけるキュレーションを牽引する阿部一直氏をキュレトリアル・アドバイザーとして招聘。映像音響表現によって当館が掲げる基本コンセプト「ランドスケープ・ミュージアム」の再解釈を試みます。

3 サウンドアーティスト細井美裕とヴィジュアルアーティスト比嘉了が手がける長野県立美術館・交流スペースのための映像音響作品

マルチチャンネル音響によって空間そのものを意識させるサウンドインスタレーションや、舞台公演、自身の声の多重録音を特徴とした作品制作をおこなう細井美裕と、第64回NHK紅白歌合戦でのPerfumeのライブ演出、坂本龍一＋真鍋大度による札幌国際芸術祭2014出展作品<センシング・ストリームズ—不可視、不可聴>などのプロジェクトに参加する比嘉了による、当館・交流スペースのための映像音響作品を公開します。

作家略歴

細井美裕 (Miyu Hosoi)

1993 年生まれ。マルチチャンネル音響を用いた屋内外のサウンドインスタレーションや舞台公演、自身の声の多重録音を特徴とした作品制作を行う。これまでの展示に NTT インターコミュニケーション・センター (ICC)、山口情報芸術センター (YCAM)、東京芸術劇場、愛知県芸術劇場、国際音響学会、羽田空港など。文化庁メディア芸術祭アート部門新人賞、Forbes JAPAN 30 UNDER 30 アート部門などを受賞。



細井美裕 ©細井美裕

比嘉了 (Satoru Higa)

1983 年生まれ。ヴィジュアルアーティスト／エンジニア。リアルタイム 3D グラフィックス、コンピュータービジョン等の高度なプログラミング技術と多種多様なプロジェクトに関わった経験を生かし、インスタレーション、舞台演出、VJ、ライブパフォーマンス、VR 作品など幅広い制作活動を行なっている。2019 年より BACKSPACE Productions Inc を設立。NTT ICC、YCAM、MUTEK JP、SXSW、SIGGRAPH などでの展示歴多数。



比嘉了 ©比嘉了

キュレトリアル・アドヴァイザー略歴

阿部一直 (Kazunao Abe)

1960 年長野市生まれ。キュレーター、プロデューサー、東京工芸大学芸術学部教授。東京藝術大学美術学部卒業後、キャノン株式会社「アートラボ」プロジェクト専任キュレーター (1990~2001)、山口情報芸術センター・アーティストック・ディレクター、副館長 (2003~2017) を経て 2019 年より現職。キュレーターとして韓国国立 Asian Cultural Center 「第 3 回 ACT Festival」ゲストディレクター「Otherly Space/Knowledge」展キュレーション (カンジュ市、2018)、evala+鈴木昭男「聴象発景」展 (丸亀市・中津万象園、2019)、池上高志+新津保建秀+evala「Mind Time Machine II」(東京大学先端科学技術研究センター、2023) などのキュレーションを手がける傍ら、「transmediale award 06」国際審査員 (ベルリン、2006)、「第 4 回デジタルアートフェスティバル台北/デジタルアートアワーズ」国際審査員 (台北、2009)、「文化庁芸術選奨」メディア芸術部門選考審査員 (2014~2016)、「文化庁メディア芸術祭」アート部門審査員 (2017~2019)、アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団) 東京文化プログラム助成審査員 (2017~2019)、経済産業省「アートと経済社会について考える研究会」委員 (2022~) を歴任。

報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 広報・マーケティング室

〒380-0801 長野市箱清水 1-4-4 (善光寺東隣)

TEL:026-232-0052/FAX:026-232-0050/E-MAIL:nam-pr@naganobunka.or.jp